**第９回「日韓研究交流プロジェクト」**

・第1部・講演　「韓国新政権発足と日韓関係・・課題と展望」

　講師：西野純也慶応大学法学部教授

　　　日本との関係改善に意欲を見せる尹政権の発足を受けて、10年以上悪化したままの日韓関係に肯定的な変化は起こるのか、　関係改善のための課題は何かについて検討する

・第2部・日韓若手によるデイベート

　　　モデレーター：西野純也慶応大学法学部教授

　　　日本側：4名　筑波まりも（立教大学4年生）、山口華梨（成城大学2年生）、吉村将太朗（神田外語大2年生）、**井上駿太**（慶応大学）

　　　韓国側：4名　崔ウソン（拓殖大学2年生）、高ダソム（明治大学4年生）、白サンヨブ（明治大学3年生）、李スンヒョク（立教大学2年生）

・閉会の挨拶：谷口　誠代表理事（元国連大使）

第1部・講演　「韓国新政権発足と日韓関係・・課題と展望」

西野純也講師の講話

＜深刻な政治・社会の分極化＞

• 尹錫悦(ユン・ソンヨル）候補の当選

• 得票率差０．７３％（民主化後もっとも僅差）

 　1639.8万票　/ 1614.7万票　＝＞　25.1万票の差

• 政治・社会の分断がさらに進行：イデオロギー＋感情

• 投票理由１位：李「相手候補が嫌」/尹「政権交代望む」

• 社会的分断の複合化：地域、世代、ジェンダー

• 繰り返される「統合」の必要性

• 社会的分断が対日関係にも大きな影響

＜日韓関係の課題と展望＞

日韓「金大中-小渕宣言2.0」時代

• 諸懸案の「包括的解決」

• 首脳シャトル外交復活/ハイレベル協議稼働

• １９９８年とは大きく異なる状況 ３つの違い(機会と挑戦)

 　　➀中国　　➁北朝鮮　　➂韓国国内

• 尹政権が直面する国内的困難

• 米国インド太平洋戦略の要請

• ウクライナ戦争

＜日韓共同宣言（1998.10）＞

• 我が国が過去の一時期韓国国民に対し植民 地支配により多大の損害と苦痛を与えたとい う歴史的事実を謙虚に受けとめ、これに対し、 痛切な反省と心からのお詫びを述べた。

• 小渕総理大臣の歴史認識の表明を真摯に受 けとめ、これを評価すると同時に、両国が過 去の不幸な歴史を乗り越えて和解と善隣友好 協力に基づいた未来志向的な関係を発展さ せるためにお互いに努力することが時代の要 請である旨表明した。

＜日韓二国間関係の懸案＞

• 慰安婦問題

• 徴用工問題

• 世界遺産登録（佐渡金山）

• 竹島問題

• 輸出規制厳格化

• 安全保障協力…

＜短期的・現実的ステップ＞

• 政治指導者の意思疎通/信頼構築

• 日米韓協力の活性化

• 人的交流の再開

＜人的・文化交流の「日韓モデル」＞

• 20 年間で貿易総額は2倍以上、人的交流は3倍以上。

懸案を抱えつつも目覚ましい発展

• 一時期不幸な関係にあった二カ国が対等なパートナーとして緊密に協力し共に繁栄。50 年以上にわたり築かれてきたこの関係は、 更なる成熟により「日韓モデル」として後の世代に、そして世界に示すことが十分でき得るもの。

• 国家間関係が悪化しても、相手国にいる知人の「個人の顔」をすぐに目に浮かべることができるなら無用な反感は生まれないだろう。

• 国民間の相互認識の改善には時間がかかる。粘り強く友好の種をまき続けることが重要。

第2部・日韓若手によるデイベート

　　　モデレーター：西野純也慶応大学法学部教授

　　　日本側：4名　筑波まりも（立教大学4年生）、山口華梨（成城大学2年生）、吉村将太朗（神田外語大2年生）、**井上駿太**（慶応大学）

　　　韓国側：4名　崔ウソン（拓殖大学2年生）、高ダソム（明治大学4年生）白サンヨブ（明治大学3年生）、李スンヒョク（立教大学2年生）

モデレーターの西野純也慶応大学教授より、➀持続可能な関係の構築、➁両国の国内政治状況を踏まえてどう日韓関係改善を行うべきかを念頭に、人的交流、民間交流、文化交流の意見交換を行い、全体にどう影響させるかデイベートしてほしいとの要望があった。

高ダソムさん：スターバックスでアルバイトをしていて感じるのは2年ほど前までは店内で流れる音楽は洋楽が多かったが、最近はKPOPなどの韓流の音楽が増えてきている。韓国留学を考えている日本人学生にはよい方向に変化していると感じる。コロナで観光ビザもとるのが難しい状況になってきたが、早くビザなしで渡航できるようにしてほしい。そうすれば全体に良い影響を与えることができると思う。

筑波まりもさん：今はどちらかというと日韓が好きな仲間同士のお付き合いが多い。このバリアを越えてインターシップで両国の学生が共同ビジネスをやったらよいと思う。

崔ウソンさん：お互いに話辛いテーマは話辛い。共有している社会的課題を提案したらどうだろうか。例えば少子高齢化について日本から学びたい。

吉村将太朗さん：少子高齢化について我々も良くわかっていない。具体的に何を学びたいのか。

年金問題や老人の雇用状況などを学びたい。

**井上駿太さん：**崔ウソンさん：**インターネットなどを通じて民間同士の交流が大切だと思う。ただし、インターネット上に差別化用語とか、蔑視の表現がたくさん出てくる。これらを規制すべきだと思う。**

高ダソムさん：日本のマスコミが韓国に厳しい。悪いコメントが炎上している。

西野モデレーター：今は韓国のメディアが日本語で読める環境になってきたことも影響している。メディアリテラシーでお互いを尊重することが大切である。相互の意見交換が大事である。相手に対する厳しい意見、コメントをどうしたらよいと思うか。

山口華梨さん：日本人の多くは慰安婦問題などの本質を理解していない。もっと教育すべきである。

筑波まりもさん：慰安婦問題の本質は女性の人権の問題であると思う。日本人は軽く考えているのでもっと勉強が必要だと思う。

白サンヨブさん：アンケートに示されるように世代によって日韓に対する意識が異なる。SNSなどで情報を得ているが全体としては判断が難しい。

**井上駿太さん：若い世代でも分極化が進んでいるように感じる。SNSでよい方向、悪い方向に加速化されている。**

西野モデレーター：それを踏まえてどうするかコメントしてください。

**井上駿太さん：**メディアリテラシーが大だと思います。義務教育の段階ではっきり教育すべきだと思います。

藤田さん（フロアーからの質問）：➀韓国の司法と行政の分担がはっきりしない。司法が行政を越えていると思います。➁教育について；今の韓国の教育について知りたい。また、日本は韓国のことについて（例えば：経済状況,IT化の進捗状況、グローバル化など）知らなすぎる。

李スンヒョクさん：（藤田さんの➁教育についての質問に応えて）韓国ではTVニュース、新聞ではなくYouTube（オープン型のプラットフォーム）の影響が大きい。この際、両国の知識人の交流が必要でYouTubeなどを活用して正しい知識を正しく教育する活動があっても良い。

**井上駿太さん：（アンケートに日本は軍国主義とあったが）日本が軍国主義ではない。国のリーダーのイメージから連想しているのだろうが、安倍を首相に選んだのは経済、安保、文化等総合的な観点から安倍を選んだことを知ってほしい。**

**斎藤さん（**フロアーからの質問）：韓国の歴史教育どのようになっているのかおしえてほしい。

崔ウソンさん：日本の歴史についての教育が多い(全体の80%ぐらい)。大日本帝国のイメージが植え付けられている。日本にきて韓国の教育は難しいと思った。何故戦争を引き起こしたのかという相手方の考えを導き出すような教育が必要である。

高ダソムさん：例えば、慰安婦の問題についてお金をあげたからもう解決ということではなく、やはり謝罪の言葉が必要である。戦争は先祖が引き起こしたのだから我々は知らないという態度も問題。教育は原因と結果を教えるのではなく「これからどうすべきか」ということを教えなくてはならない。やはり根本問題は歴史認識にあると思う。

西野モデレーター：有意義な議論があったが、これがすべてではない。両国の学生の考え方を理解していただきたい。

閉会の辞

谷口代表理事：

対中関係がうまくいけば日韓関係はうまくいくと考えている外務省の関係者が多いが、今や日本にとっては日韓関係の方が大事だと思う。英語やフランス語も大事であるが今やハングルも大事になってきていることを外務省も認知すべきである。そのためには大学間の交流なども大いに促進すべきである。日本の方が先進国であるという自惚れはすてて韓国から多くのモノを学ばなくてはならない。

今日の若者のデイベートは有意義で、これからの日韓関係の進展を若い世代に期待をしている。